

加入・脱退届出のお知らせ

国保に加入・脱退するときは、必ず14日以内に届出をしましょう!!

こんなとき

届け出に必要なもの

国保に加入するとき

●ほかの市区町村から転入してきたとき	ほかの市区町村の転出証明書、印鑑
●職場の健康保険を脱退したとき	職場の健康保険を脱退した証明書、印鑑
●職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき	被扶養者でない理由の証明書、印鑑
●子どもが生まれたとき	保険証、母子健康手帳、印鑑
●生活保護を受けなくなったとき	保護廃止決定通知書、印鑑
●外国籍の人が加入するとき	外国人登録証明書

国保を脱退するとき

■ほかの市区町村に転出するとき	} 保険証、印鑑
■職場の健康保険に加入したとき	
■職場の健康保険の被扶養者になったとき	} 国保と職場の健康保険の両方の保険証、印鑑
■国保の被保険者が死亡したとき	
■生活保護を受けるようになったとき	保険証、印鑑
■生活保護を受けなくなったとき	保険証、保護開始決定通知書、印鑑
■外国籍の人が脱退するとき	保険証、外国人登録証明書

その他

◆退職者医療制度の対象となったとき	保険証、年金証書、印鑑
◆同じ市区町村内で住所が変わったとき	保険証、印鑑
◆世帯主や氏名が変わったとき	保険証、印鑑
◆世帯が分かれたり、一緒になったりしたとき	保険証、印鑑
◆修学のため、別に住所を定めるとき	保険証、在学証明書、印鑑
◆保険証をなくしたとき (あるいは汚れて使えなくなったとき)	本人であることを証明するもの(免許証等) (使えなくなった保険証)、印鑑

*国保の届け出が遅れると、保険税をさかのぼって納める(遡及賦課)必要や、後で医療費を返還してもらう場合が生じることもありますので、早めの届け出をお願いします。

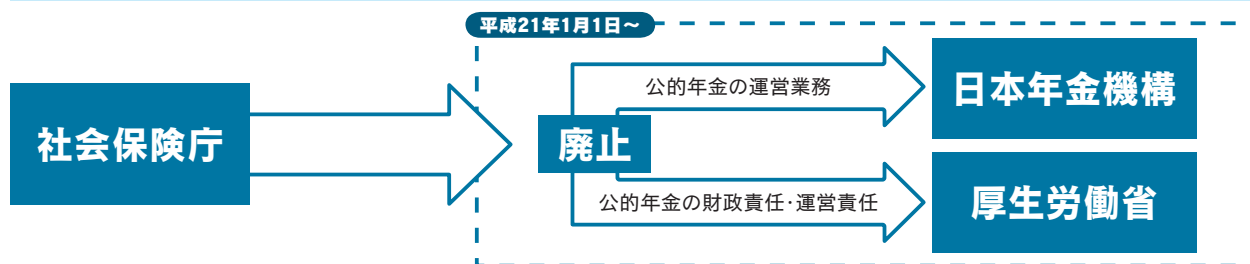
問い合わせ先 本庁 税務住民課 国保年金係(内線513)/総合支所 税務住民課 住民係(内線752)

「日本年金機構」が来年1月1日からスタート!

～社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。～

国民の皆様の信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

- 現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談の窓口として引き続きご利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。
- 日本年金機構の設立に伴い、これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義でご案内していた各種の関係書類は、内容により、今後は厚生労働省または日本年金機構の名義でご案内させていただくこととなりますが、町民の皆様方に何らかの手続きをしていただくことは一切ございませんので、ご安心ください。
- 日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなりますが、公的年金制度は、国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりません。



12月4日～10日は

『第61回人権週間』です。

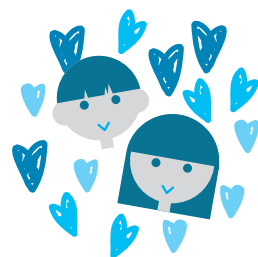
20世紀前半に起きた二度の世界大戦の悲惨な体験と反省に立ち、国連総会は昭和23(1948)年12月10日、すべての人々の尊厳と自由、平等をうたった「世界人権宣言」を採択しました。この宣言は、人権及び自由を尊重し確保するために、すべての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準を定めたものです。

また、昭和25(1950)年の国連総会において、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」として、世界中で記念行事を行うことが決議されました。

日本では、人権デーを最終日とする一週間(12月4日から10日)を「人権週間」として、人権を尊重することの大切さを訴えるイベントが全国各地で開催されます。

人権に関連する
記念日や週間

- ・11月25日～12月1日…… 犯罪被害者週間
- ・12月 1日 …………… 世界エイズデー
- ・12月 3日～9日 …………… 障害者週間
- ・12月10日～16日 …………… 北朝鮮人権侵害問題啓発週間



和水町では、人権週間に合わせて、町民の皆様が気軽に参加し、人権について身近に感じていただけるような講演会を企画しました。

町民カレッジ ふなやま講座講演会

講師 田尻 由貴子さん(慈恵病院 看護部長)

演題 命の尊さ「こうのとりのゆりかごを通して」

とき 12月12日(土) 19:00～20:30

ところ 和水町中央公民館

問い合わせ先 和水町中央公民館 ☎86・2022

こうのとりのゆりかごの開設の準備から運営にかかわり、相談員も務める田尻さんは、以前は菊水町立病院で総婦長を勤められました。赤ちゃんの命が救われ、女性も前向きに生きることが出来るなど、実践を通して「こうのとりのゆりかご」命への思いを伝えます。



講師 田尻 由貴子さん

今年も「人権週間」に合わせて、中学生「親子で綴る人権標語」募集を行います。その優秀作品の発表と表彰式を、生涯学習推進大会2月28日(日)の中で行います。